

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼっぼハウス ①		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2025年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置人数も多く、専門職を配置し行き届いた丁寧な支援をしています。活動は、「自由あそび」「設定あそび」のメリハリがついています。	「自由あそび」も大切に、人間関係やコミュニケーション力を育む支援をしています。「設定あそび」では運動・感覚、認知・行動を養う活動を設定し、さらに専門的支援の実施(サーキットや感覚統合療法やビジョントレーニング)を行っています。	5領域「健康・生活」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の視点を踏まえた個々の子どもに応じた支援を提供していきます。
2	当法人では小学年から高校生まで統一した支援を行っています。同じ法人内ですが、学年が上がることで別の事業所に移動し、3つの事業所を利用できます。	活動などは、難易度や内容をその年齢や特性に合ったものを提供しています。事業所が変わることで、支援場所と支援職員など環境も変わりたくさんの関わりと経験をすることができま。また個別支援計画や支援方法などをしっかり事業所間で引継ぎ、本人が戸惑うことがないよう統一した支援の工夫をしています。	各事業所ごとにさらに明確な特色をもてるように取り組んでいきます。3事業所が交流できる活動も増やしていきたいと思っています。
3	研修部提案の専門職による研修会などを定期的に行っています。	全スタッフより研修したいことを聴き取り、必要な研修会や事例検討会を行っています。	事業所内研修をさらに充実し、研修で学んだことを日々の支援に活用して楽しく意義のある活動の提供をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者同士の交流する機会がありません。	茶話会など定期的に行っていますが、就労している保護者が多く学校行事等が優先されるため参加者が少ないです。父母の会など交流も大切ですが、かえって負担にならないのか心配です。	保護者同士の交流会の時間設定を考えていきます。また、家族等の参加できる行事を行います。その際には保護者の皆さんに負担がないように配慮します。保護者の方が参加できる研修の情報提供を行っていきます。
2	児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会がありません。	利用児が小学校低学年なので、学校と事業所に慣れることを優先と考えています。	事業所の前に公園がありますので、地域の子もたちと自然に交流できるようにしています。また、他の放課後等デイサービス事業所と交流する機会を設けていきます。
3			